

岡歯会報



巻頭言

「今」、思うこと 岡本全允 <p 1>

「家族の絆プロジェクト」 <p 8>

第142回学術集談会 後記 <p 19>

2015 vol.820 5



一般 岡山県歯科医師会
社団法人

目次

巻頭言 「今」、思うこと…………… 一般社団法人 玉野市歯科医師会 会長 岡本 全允	1
一般社団法人岡山県歯科医師会役員選挙公示	2
日本歯科医師会代議員等選挙公示	2
Open the 理事会	3
「家族の絆プロジェクト」	8
マンスリー・デンタル・ニュース・レビュー (129)	15
社会保険部 第21回 社会保険部検討委員会報告	17
学術部 第142回学術集談会 (岡山市歯科医師会第205回学術臨床放談会併催) 後記	19
「皆木教授の出張義歯講座」第三回 (高梁・真庭・新見地区) 後記	21
医療管理部 医療管理ニュース Vol.47 歯科医師国家試験の合格率は今年も低迷!	23
厚生部 文化事業部会 平成26年度レクリエーション大会のご報告 (東日本大震災復興支援チャリティー大会)	24
総務部 会館運営 会館ギャラリー 都窪歯科医師会 写真展のご案内	25
地区歯科医師会だより 津山歯科医師会	26
倉敷歯科医師会	27
高梁歯科医師会	28
リレー随筆 「魔法のチョコレート?」 草野 弘揮 (岡山市歯科医師会)	29
学院だより 第55回 卒業証書授与式	30
同窓会だより 愛知学院大学歯学部同窓会学術講演会のご案内	31
お知らせ 日曜・祝日の開館予定日 (5月・6月)	31
日本歯科医師会 第43回産業歯科医研修会 (平成27年度) 実施要領	32
平成27年度会費等について	33
会員異動	34
5月の収納金	34
3月 会の動き	34
5月・6月 本会の予定	36
5月・6月 地区歯科医師会の予定	36
こちら編集室	37

<http://www.oda8020.or.jp>

■題 字 岡山市歯科医師会 三浦 晰先生

■表紙作品 「水面の華」 岡山市歯科医師会 橋本 俊明 先生

「牡丹の花も、水面を飾ればすばらしき光景に。美しかったです」



「今」、思うこと

一般社団法人 玉野市歯科医師会

会長 岡本全允

標高307m児島富士といわれる常山の麓で開業して34年，春には桜，つつじが満開となり四季を通じて山は様々な色に染まる。約400年の昔，この常山には常山城が栄えていた。城主は上野隆徳だったが，小早川隆景軍に攻められ落城した。

常山の一角には女軍の碑がある。常山合戦で奮戦した女軍の墓，城主上野隆徳の妻・鶴姫以下34人の勇猛果敢なる女性軍の史跡である。女軍の戦いがあったのは1575年（天正3年）のこと。この地では毛利氏が中国の雄として君臨していたが，信長からの甘い誘惑で松山城主・三村元親とともに三村の部下である上野隆徳は毛利から信長に乗り換えた。「裏切り者は征伐すべし」とばかりに毛利元就の三男小早川隆景の大軍により落城した。今でも毎年お盆時期になると常山山頂で女軍慰霊祭が行われ，「常山くどき」という歌を謡い，舞が催され供養している。羽柴秀吉の中国攻め（1582年・天正10年）がもう少し早ければ常山城の落城はなく，備中松山のような城下町が残ったかもしれません。（100名山，日本百富士，敷島悦郎著，三一書房より）

玉野では休日診療，15才，3才児検診，歯周病検診が行われていますが，今年度から妊婦歯科検診も始まり妊婦の1割程度が受診しています。そして，現在県歯の指導で「家族の絆プロジェクト」が実施されています。2004年，台風16号による高潮・土砂災害の苦い経験から市民の関心も高く，行政主催の「元気が一番まつり」，「玉野，なんでも相談会」での登録証カードの発行も好調です。歯科医の社会貢献についても考えてみたいです。（国会議員，市長にも発行した）

私も前期高齢者となり，勤務医も長かったので厚生年金，共済年金，日歯年金，国民年金，個人年金と多くの年金支給を受けていますが，内容は寂しいものです。若い先生方は年金のことを考えていますか？ 県内の大学同級生の過半数が，現役撤退を余儀なくされた「今」，ワーファリン，BP剤に困惑しながら，先人の教えを思い浮かべ，日々過ごすこととなりそうです。

少にして学べば，則ち壯にして成すあり，
 壯にして学べば，則ち老いて衰えず，
 老いて学べば，則ち死してなお朽ちず。

（江戸時代の陽明学者，佐藤一斎のことは，「壯にして学べば，老いて衰えず」
 大栗道栄著，中経出版より）

一般社団法人岡山県歯科医師会役員選挙公示 (公示日：平成27年6月8日)

役員任期が満了するので、その改選を定款第31条及び役員選挙規則により下記のとおり行います。

記

1. 選挙する役員 理事 17名以内, 監事 3名以内
2. 選挙期日 平成27年6月28日(日)
定時代議員会に於いて出席代議員により選挙する。
3. 届出用紙お渡し 6月1日(月)～5日(金) 各日共 午前10時より午後5時まで
4. 届出期日 届出受理期間 (役員選挙規則第6条第2項)
6月10日(水)午後5時までに届出のこと。
5. 任期 選挙を行う定時代議員会終結後から平成29年6月開催の定時代議員会終結時まで。

日本歯科医師会代議員等選挙公示 (公示日：平成27年6月8日)

日歯代議員, 及び予備代議員の任期が満了するので、その改選を定款第22条及び日本歯科医師会選挙規則第5条の規定により下記のとおり行うことを公示する。

記

1. 選挙の期日 平成27年6月28日(日)
定時代議員会に於いて出席代議員により選挙する。
2. 選挙の場所 岡山県歯科医師会館
3. 届出用紙お渡し 6月1日(月)～5日(金) 各日共 午前10時より午後5時まで
4. 届出期日 届出受理期間 (役員選挙規則第6条第2項)
6月10日(水)午後5時までに届出のこと。
5. 選挙の定数 (1)日本歯科医師会代議員 2名
(2)日本歯科医師会予備代議員 2名
6. 任期 平成27年7月1日より2年間

Open the 理事會

羅針盤

会 長 酒 井 昭 則



県庁に沖野先生という若い歯科医師が新たに赴任され、4月23日に本会へご挨拶に来られました。誠実なお人柄とお見受けし、好感を持ちました。

県行政と我々、公と民間と云う立場の違いはありますが、目指すところは県民の健康です。この目的を共有し、お互いが知恵を出しあう事で、より効果的、効率的な情報発信、事業展開が可能になると考えています。目的意識を根深い所で共有していれば、少々の摩擦、軋轢は払しょく出来るのではないのでしょうか。

平成26年度 第77回
平成27年3月5日(木)
18:30～19:38

1. 会長挨拶

先週土曜日辺りから風邪をひいており体調不良ですが、気力は旺盛です。うつらないようにご注意ください。

2. 報 告

各部委員会 6件

本会関連の研修会・会議等 8件

連 盟 5件

学 院 2件

3. 行事予定

本会行事 58件

連盟行事 県歯 4件

学院行事 7件

国保組合 1件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 第1回岡山県保健医療計画策定協議会・地域医療構想部会の開催と出席依頼について

平岩常務理事 出席

日 時 3月23日(月) 14:00～17:00

場 所 ピュアリティまきび

- (2) 平成26年度岡山県介護予防市町村支援委員会の開催と出席依頼について

横見理事 出席

日 時 3月27日(金) 10:00～12:00

場 所 岡山コンベンションセンター

ママカリフォーラム

委 員 横見理事

- (3) 平成26年度岡山県歯科搬送治療システム推進
研修会の開催と周知依頼について

ご案内

日 時 3月29日(日) 9:30～12:00

場 所 ピュアリティまきび

主 催 岡山県・岡山大学病院

- (4) 「岡山県警察友の会」理事会・総会の開催と
出席依頼について

欠 席

日 時 5月19日(火) 理事会 16:15

総 会 16:45

場 所 岡山プラザホテル

※終了後、17:30より懇親会

- (5) 日本歯科医師会より死因究明等推進計画に基
づく協議会設置の状況等に関する調査協力依
頼について

警察歯科医会対応

締 切 3月13日(金)

〔検討事項〕

- (1) 第1回災害歯科保健医療連絡協議会（仮称）
出席者の推薦について

当番県にお任せする

日 時 4月15日(水) 13:00～17:00

場 所 歯科医師会館

※中国・四国地区より1名

- (2) 本会入会申込みについて（新年度4月1日入会）

承 認

正会員 やすいようへい 安井洋平（岡山市歯科医師会）

- (3) 本会会館使用申込みについて

承 認

①日 時 4月11日(土) 19:30～21:00

主 催 日本大学歯学部・松戸歯学部同窓会

5. 閉 会（藤井副会長）

今日の視点（黒木祐二）

2月28日(土)本会監事会および予算決算委員会が開催されました。平成26年度4月1日から12月31日までの現況および平成27年度の予算案、また諸規則の変更についての報告、協議等が開催されました。諸規則の変更においては、特に共済事業部会の規則に大きな変更点がありました。共済事業部会の会計においては従来までは本会から独立したものでしたが、先の公益法人改革により共済事業部会の会計においても本会会計の中に組み込まれる形となりました。従いまして、従来は共済事業部会の監査委員会で行っていた監査に関しても本会の会計として本会監事会で行うこととするように規則を変更いたしました。この会計方式の変更により少し内容がわかりにくくなりましたが、代議員会においては各部の報告の中で会計についても詳細等をご報告する予定です。

平成26年度 第78回
平成27年2月12日(木)
18:30~20:28

1. 会長挨拶

理事会が一週間空いたので、時間の感覚が判らなくなっていますが、嬉しい知らせがありました。玉野市の中村陸夫先生が明海大学歯学部同窓会長に、この4月から就任されます。

2. 報 告

各部委員会 7件
本会関連の研修会・会議等 22件
連 盟 2件
学 院 6件
事務局 1件

3. 行事予定

本会行事 26年度27件, 27年度25件
連盟行事 県歯5件, 日歯2件
学院行事 7件
国保組合 3件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 総務省EHR実証事業 第6回実証部会の開催と出席依頼について

欠席

日 時 3月26日(木) 19:30
場 所 岡山衛生会館
委 員 黒住副会長

- (2) 都道府県歯科医師会社会保険担当理事連絡協議会の開催と派遣依頼について

社会保険部3名出席

日 時 4月2日(木) 13:00~17:00
場 所 歯科医師会館

※終了後、懇親会

- (3) 朝日大学歯学部同窓会岡山県支部社保講習会の開催と講師派遣依頼について

承認

日 時 4月11日(土) 19:00

場 所 大村歯科医院研修室

派 遣 北山 仁 社会保険部検討委員

- (4) 倉敷歯科医師会より第39回「歯の健康フェア」打合せ会議の開催と出席依頼について

平岩常務, 横見理事 出席

日 時 4月16日(木) 17:00~18:00

場 所 倉敷歯科医師会館

- (5) 「平成27年度 第6回中国地方障がい者歯科臨床研究会」開催に伴う開会式における挨拶並びにプログラムへの挨拶執筆依頼について

挨拶文 (平岩常務)

日 時 4月19日(日)

9:30~16:00(開会式は13:00)

場 所 岡山大学歯学部

執 筆 400字程度(締切3月27日)

- (6) 平成27年度 第1回中国・四国地区歯科医師会会長・日歯代議員合同会議の開催と出席者並びに質問事項の提出依頼について

三役(予定)

日 時 4月25日(土) 15:00

場 所 JRホテルクレメント高松

締 切 3月31日(火)

- (7) 第20回岡山県老人クラブ連合会健康づくり推進委員会の開催と出席依頼について

横見理事 出席

日 時 4月28日(火) 13:30~15:00

場 所 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館

委員 横見理事

(新年度 4月1日入会)

(8) 日本歯科医師会より地域医療構想(ビジョン)に関するアンケート調査への協力依頼について

承認

平岩常務 対応

正会員 たけきたますお 竹北益生(玉野市歯科医師会)

締切 3月23日(月) 15:00

(2) 本会会館使用申込みについて

いずれも承認

(9) 社会保険診療報酬支払基金岡山支部より審査委員の任期満了に伴う推薦依頼について

①日 時 5月31日(日) 9:00~15:00

主催 岡山高等歯科衛生専門学校

検討

②日 時 11月14日(土) 19:00~22:00

主催 東京歯科大学同窓会

〔検討事項〕

(1) 本会入会申込みについて

5. 閉会 (黒住副会長)

今日の視点 (横見由貴夫)

厚労省から都道府県に「平成26年度後期高齢者医療制度事業の実施について」という文書が通知されており、その中には「歯科健康診査」という一項があります。

後期高齢者の口腔機能低下や肺炎等の疾病を予防するために、歯周疾患検診を基本として歯・歯肉の状態や口腔清掃状態等をチェックするというものですが、高齢者の特性を踏まえた検査内容も設定するという内容になっています。平成27年度においては、広域連合に対して6.1億円の国庫補助が予定されています。本県においても、既に3市町村で実施されていますが、広域連合からの委託により市町村が実施するという形式になっており、集団検診ではなく医療機関で行う個別健診が主体のようです。市町村との協議が第一歩と考えますが、その際の参考になる資料もありますので、公衆衛生部まで遠慮なくお申し出ください。

平成26年度 第79回
平成27年3月26日(木)
18:30~19:36

1. 会長挨拶

本日の厚生局との協議会にご苦勞様でした。打合せと思い込んでおり、遅れてしまいました。会に到着した時に丁度、厚生局岡山事務所長、長寿社会課長が帰る所だったので、挨拶はできませんでした。

2. 報告

各部委員会 5件
本会関連の研修会・会議等 12件
連盟 1件
学院 1件

3. 行事予定

本会行事 26年度10件, 27年度33件
連盟行事 県歯4件 日歯3件
学院行事 7件
国保組合 3件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 第6回中国地方障がい者歯科臨床研究会懇親会の開催と参加依頼について

酒井会長 出席

日 時 4月18日(土) 18:00

場 所 割烹・小料理 温石

- (2) 群馬県歯科医師会より創立百周年記念式典・講演会・祝賀会の開催と臨席依頼について

祝 電

日 時 5月9日(土) 式典 13:30

講 演 15:15

祝賀会 17:00

場 所 高崎ビューホテル

返 信 4月10日(金)

- (3) 平成27年度日本スポーツ・健康づくり歯学協議会負担金納入依頼について

承 認

- (4) 日本スポーツ・健康づくり歯学協議会幹事選出依頼について

留 任

幹 事 2名以内

現任者 藤井副会長, 清水理事

- (5) 訪問看護推進協議会委員の推薦依頼について

留 任

任 期 平成27年4月1日

~平成29年3月31日 (2年間)

締 切 4月末日

現任者 横見理事

〔検討事項〕

- (1) 日本歯科医師会主催「女性歯科医師の集い」の参加方法の案内について

女性歯科医の会へ

日 時 5月24日(日) 11:00 ~ 14:30

場 所 コートヤード・マリオット銀座東武ホテル

定 員 200名

締 切 5月8日(金)必着

- (2) 本会会館使用申込みについて

承 認

①日 時 7月5日(日) 10:00 ~ 17:00

主 催 中村慶男 (岡山市)

5. 閉 会 (西田常務理事)

今日の視点 (南 哲之介)

年度末の理事会が開催された。次週からは次年度予算の中の執行であり、次期執行部に決算を仰ぐこととなるため事業執行には一定の配慮が必要となる。法人改革に伴う違和感は未だ拭い去れない。

医療管理部においては、この間に計5日間の歯科助手資格認定講習会の開催と、「第56回日本歯科医療管理学会総会・学術大会」を担当することとなり、現在全力で準備に当たっている。県歯による全国大会の主管は、平成17年の第69回全国学校歯科保健研究大会以来ちょうど10年ぶりになる。開催規模に違いがあるとはいえ、準備には膨大な手間と労力を求められることに変わりはない。

5月29日(金)から3日間の日程で開催されるこの大会への県歯会員の参加は無料としている。大会を盛り上げると共に、医療安全、医院経営の一助として、ひとりでも多くの会員の参加をお願いしたい。

「家族の絆プロジェクト」

岡山市歯科医師会

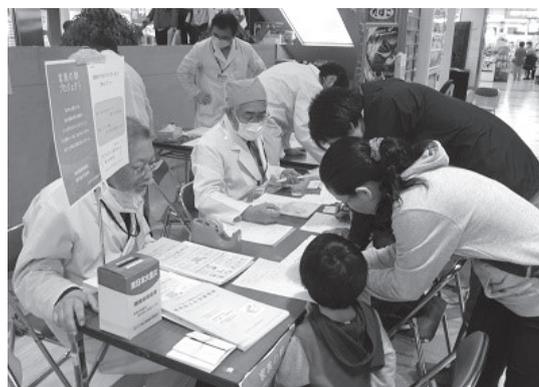


私たち岡山市歯科医師会の「家族の絆プロジェクト」は、「今、3.11を考える 私たちにできること～家族を取り戻すために歯科医師会が取り組んでいること～」と題し、3月8日(日)天満屋岡山店6階みどりの広場にて開催しました。開催にあたり市内連合会より都窪歯科医師会の先生にもご協力を頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。プロジェクトの内容ですが、東日本大震災時に岡山県歯科医師会より派遣された援助隊の活動記録を県歯からお借りしたパネルで紹介し、また岡山市歯科医師会で独自にパネルを作製し、災害時の身元鑑別における検死の歴史と有用性について説明しました。多くの方々がパネルに長時間足を止めて見入っておられたのが印象的で、熱心にご質問をくださった市民の方もたくさんおられました。歯の記録については、半個室ブースを3か所用意し、49名の方のチャートを登録させていただきました。今後も岡山市歯科医師会は、震災の記憶を風化させないように被災地に思いを寄せて、市民啓発イベントの歯ッピーフェア等で継続して市民へ働きかけてまいります。

(モニター 横山尚史)

御津歯科医師会

御津歯科医師会は、平成27年3月8日(日)に御津地区の拠点である“イズミヤ津高店”で「家族の絆プロジェクト」事業を行ない、62名の方々に登録して頂きました。この事業は、身にふりかかるかもしれない災害を想定してスタートしています。先日、被災者の方に、このプロジェクトをどう思うのかとお聞きしたことがあります。すると、「私だったら必ず登録します。だって、頭に思い浮かべてみて下さい。もし、自分が何らかの災害に遭遇し、身元不明者で発見されたとしても、このプロジェクトに登録していることで、家族の元に戻れる唯一の道標になるんですから」との回答を頂きました。この事業は、我々歯科医師だけができるものだと思います。胸を張って、今後とも末長く、継続していきたいと思えます。



(会長 磯島 修)

津山歯科医師会



津山歯科医師会の「家族の絆プロジェクト」は地区で取り組んでいる3月8日の障がい者診療と3月15日の妊婦健診に合わせて二日間にわたり開催いたしました。

障がい者の方とご家族、検診に来られた妊婦の方と同伴で来られたご家族もこのプロジェクトの趣旨をご理解いただいて積極的に参加くださいました。

津山市とその近隣の町の広報に「家族の絆プロジェクト」の案内を掲載していたので、その広報を見てわざわざ津山歯科医療センターまで足を運んで参加くださった方もおられてスタッフ一同大感激でした。

二日間で100名を超える方々に登録をしていただきました。

(モニター 藤田元英)

玉野市歯科医師会

平成27年3月7日(土)午後1時より午後4時30分まで、玉野すこやかセンターに於いて、《最後まで住み慣れた地域で暮らすために》というテーマで玉野市在宅医療・介護連携市民フォーラムが開催されました。同時に「たまの・なんでも相談会」が併設され相談無料・時間制限なし・予約不要の条件で相談員として、弁護士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士、栄養士、産業カウンセラー、社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員の方々が、それぞれ独立ブースを作り対応にあたりました。



あいにくの朝からの強い雨、また寒い日でもありましたが大勢の高齢者の方々が来場され、それぞれの会場に分かれ聴講、または相談会に行かれておりました。当玉野市歯科医師会より、岡本会長、桜井、三宅の3名で相談にあたり、県歯より横見理事が来訪され指導にあたって下さいました。マスメディア等の広報のお陰で「家族の絆プロジェクト」を知っておられる方も多く、趣旨に賛同し登録して下さった方々より感謝され、激励いただきました。

私見ではありますが、相対的に高齢の方が多かった為、活字が見にくかったり、目的会場になかなか辿り着けなかったりで、もう少し会場内の設営で案内板、ポスター、案内人に関して一考の余地があると感じました。

今回のこの教訓を生かし、もっと多くの人々に登録していただけるように努力したいと思いました。

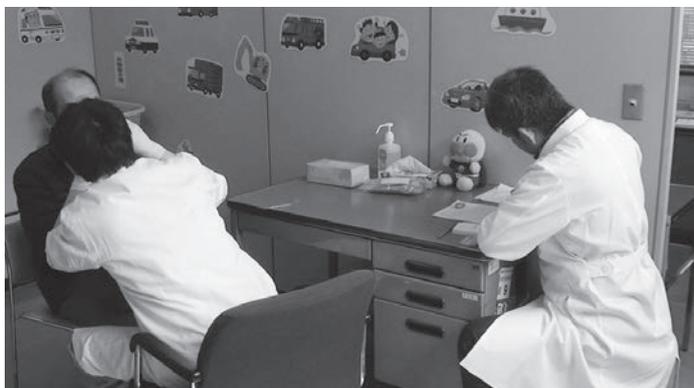
(三宅康正)

赤磐歯科医師会

それは10月23日の本会・地区連絡協議会からでした。「これはまたえらい事を言われる・・・」というのがその場での本音でした。それでも「これができるのは私達歯科医師しかない！」という本会理事の思いに押され赤磐歯科医師会理事会に持って帰りました。理事会では快く受け入れられましたが、広報不足もあり不安のまま当日を迎えました。赤磐エリアでは3月12日(木)に赤磐市山陽保健センターで行われました。前日に報道各社が当時の様子を放送していた影響でしょうか、午前中は9時から切れ目なく登録を希望される方が来られました。中には80歳くらいの方がご夫婦でおいでになり、「何かあるかわからんけん、よろしく頼みます」と言われて帰られました。午後からは希望される方はまばらな感じでしたが、できればこの資料が使われることにならない様にといいながら53名の登録を終えました。

(会長 角南整司)

和気歯科医師会



3月8日(日)10時～12時、備前市保健センターにて和気歯科医師会による「家族の絆プロジェクト」が行われました。

当日は武用会長以下、総勢8名の会員が参加・協力しました。また、県歯からは西田常務理事が会場を訪問され、盛況のうちに終わりました。と、本当はそう報告したかったの

ですが、事前告知が今一つ行き渡っていなかったのか、受診者は3人と少々さびしい結果になりました。

備前市・和気町には、海に面している地区もあり、また山のそばの居住区もあります。この活動は不測の事態の備えとして大いに役立つ可能性を秘めたものと思います。歯科医師として地域に貢献することができる、治療以外の手段のひとつとして、和気歯科医師会としてもまた各歯科医院でも今後も活動を続けて行く必要性を感じました。

(畑上雄大)

倉敷市内歯科医師会



東日本大震災から早4年を迎える今年、岡山県歯科医師会主催「家族の絆プロジェクト」が、倉敷市内歯科医師会協議会によって行われたことをご報告致します。

平成27年3月1日(日)、同協議会による第15回介護セミナーが倉敷健康福祉プラザで行われ、セミナー終了後同会場別室にて実施しました。

当日は、医療・介護関連の方々が多く来場されており、セミナー開始前に県歯作成DVDを放映、倉敷市内歯科医師会協議会会長・近藤康弘先生、副会長・藤澤伸彦先生より活動趣旨説明と協力を呼びかけました。もとより人間の尊厳や命に係わる職種の方々ということもあり、すでに報道でご存知の方もおられ当プロジェクトへの関心も高く、多くの方の登録を期待しておりました。しかし、朝から長時間のセミナー終了後で、時間も午後1時を回り家路に急がれる方が多く、残念ながら登録者は数名にとどまりました。

今後、我々歯科医師の専門性を生かし、国民の皆様様の尊厳を守り私たちの立場を皆様により近いものとするためにも、このような活動を継続していくことの大切さを再確認できる良い機会となりました。

(水川正弘)

吉備歯科医師会

平成27年3月15日(日)、総社圏域での「家族の絆プロジェクト」が総社カルチャーセンターにて開催されました。事前に総社市の広報誌、山陽新聞の地方版、新聞折込広告等にて広くPR活動を行いました。当日は併せて歯科無料相談のコーナーも設け、歯の大切さを理解していただき、広く「家族の絆プロジェクト」について地域住民にアピールしました。藤井龍平副会長、黒木祐二理事もお忙しい中を視察に駆けつけて下さいました。なお、今回のプロジェクトについて総社市議会で三宅啓介議員にプロジェクトの趣旨、自治体の協力について一般質問をしていただきました。



また、これに先立ち3月8日(日)には、岡山市内の会員が中心となって高松公民館で開催された「食と環境・復興フェア」の中で、「家族の絆プロジェクト」の活動を行いました。

(モニター 亀山達弘)

浅口歯科医師会



2月15日の里庄健康祭りと3月15日の金光芸能祭に参加し、「家族の絆プロジェクト」を開催しました。

里庄健康祭りでは例年様々な催しが行われ、健康に関心の高い方々が多数来られます。

我々は、毎年ここでランチプロジェクトを開催しており、今年はいつもの企画に加えて「家族の絆プロジェクト」を行いました。

歯科のブースは周知されており、人気もあるため“やってみようか”“やっておこう”という参加者が多く、すんなり受け入れられたように感じました。

一方、金光芸能祭は支部としても初めての参加でしたが、3.11直後だった為、プロジェクトの趣旨を理解しやすかったようです。

来場者は、演者とその家族や知人でしたが、思ったより多数の方が登録してくださいました。

里庄では45名、金光では18名が登録されました。笠岡放送が両方の取材に来られました。

このプロジェクトの知名度が上がれば、今後は希望者も増えるだろうという手ごたえを感じました。

(モニター 横山美千代)

笠岡市歯科医師会

笠岡市歯科医師会では、平成27年3月15日に笠岡歯科技工専門学校において、「家族の絆プロジェクト」を行いました。事前の啓発活動として、山陽新聞社、中国新聞社、笠岡放送、笠岡市の広報にご協力いただきました。又、山陽新聞社は当日も取材に来てくださり、大変お世話になりました。災害の少ない土地柄で防災意識が低い中、この「家族の絆プロジェクト」により防災意識を高め、東日本大震災を風化させないという意味において、有意義なプロジェクトであると実感致しました。当日は、笠岡市歯科医師会の会員8名の参加、岡山県歯科医師会より黒住副会長と平岩常務理事に來訪頂きました。

この場をお借りして、関係各位に心より御礼申し上げます。

(会長 五十嵐 克志)

小田歯科医師会

「家族の絆プロジェクト」

場 所 矢掛健康管理センター 1 F

日 時 平成27年3月8日 10時～15時

参加歯科医 中西 史彦 坂本 昌彦 鳥越 英志 三海 正人
三谷 克己 河上 幸雄 宮尾 亮次

広報活動 ・矢掛ケーブルテレビで放送 ・「広報 矢掛」記事掲載
・有線放送 告知 ・町の施設と各歯科医院でのポスター

当日は天気も良く19人のデータが集まりました。

事前の勉強会により検診・データ記録は問題なくできました。

問題点として

- ・もっと分かりやすい説明文があれば良い
- ・データのインプットは分かったが、アウトプットのやり方は分らない
- ・個人情報であるデータの保存と管理がどうなっているかわからない
- ・それらの質問をする窓口がない

などがあげられました。

(モニター 河上幸雄)

井原歯科医師会



平成27年3月15日(日)午前10時～午後1時、井原保健センターにおいて、「家族の絆プロジェクト」を開催しました。このプロジェクトが立ち上がった時から、三宅会長自ら、市や市議会、医師会などの各種団体に説明と協力をお願いし、事前に市公共施設にポスターを貼ってもらったり、市広報やケーブルテレビでアナウンスしました。

当日は、会員全員参加を基本とし、17名の会員が参加しました。流れとしては、登録希望者を誘導係が歯科医師(説明係)の所へ誘導し、プロジェクトの概要を説明。同意を得られたら、サインをしていただき、歯科医師(検診係)の所へ誘導して検診をします。検診終了時にカードをお渡しし、アンケートにご協力をいただくという形で会員全員に役割が与えられました。午前中には、酒井会長と黒住副会長が会場を訪れ状況を見学されました。今回、登録された方は17名でしたが、継続事業である為、秋にランチプロジェクトとして当会も参加している市の主催で開催される「はつらつ井原 ふれあいフェスタ」でも行います。

(モニター 三宅秀典)

高梁歯科医師会

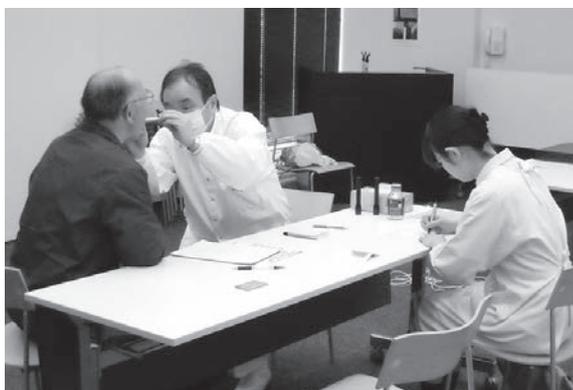
高梁歯科医師会は3月8日(日)に市保健センターでPRイベントを会員14名の協力で開催しました。趣旨説明等を行う受付、PR動画を上映するブース、診察室を設置して実施したところ、検診だけの単独事業にも拘わらず28名の参加がありました。

これらは山陽新聞地域圏版に写真入りで取り上げられ、また応援に来られた県歯専務理事大嶋敏秀先生にケーブルテレビで、今後も地域の歯科診療所で登録できることを広くPRしていただきました。



(モニター 藤本誠司)

新見歯科医師会



3月8日(日)、新見歯科医師会では「家族の絆プロジェクト」を開催しました。

県歯科医師会の東日本大震災を背景とした歯の情報を集積して管理するプロジェクトで、新見歯科医師会でも微力ながら協力できないかと企画しました。

まずは、プロジェクトを市民に知ってもらうために、各歯科医院に「家族の絆プロジェクト」のポスターを掲示しました。次に、同プロジェクトの開催にあたり、山陽新聞と備北民報に開催記事や広告を掲示しました。

今回のプロジェクトでの参加数は数人でしたが、地元ケーブルTVや地方新聞二紙の取材を受けて、プロジェクトの意義と今後は各歯科医院や健康イベントなどでプロジェクトを継続していくことを伝えることができました。

なお、会員の医療機関や地域において、登録希望者への説明や同意を得る際にプロジェクトの内容を説明する為のチラシを作成したので、今後の「家族の絆プロジェクト」に活用していきたいと思います。

(モニター 池田 正)

Monthly Dental News Review (129)

平成27年

3月19日(木) ▶矯正の転医患者 半数に不適切治療

日本矯正歯科学会が会員調査

前医での治療情報 (n=262)

	あり	なし	わからない
セファロの撮影 [※]	76件 (29.0%)	119件 (45.4%)	67件 (25.6%)
治療方法の説明	56件 (21.4%)	140件 (53.4%)	66件 (25.2%)
費用の説明	95件 (36.3%)	64件 (24.4%)	103件 (39.3%)

※頭部X線規格写真(セファログラム)

十分な診断を行わずに無理な「急速拡大」や「非抜歯治療」、安易な「床矯正」を行いトラブルを起こすケースが増加傾向にある。全会員が日本矯正歯科学会の認定医を取得している日本臨床歯科医会による会員調査で明らかになった。同会が17日に発表したもので、検査・診断や、治療技術、設備や人員などの診療態勢が不十分なまま矯正治療を行いトラブルを招いている現状に警鐘を鳴らした。

23日(月) ▶日歯連盟 新会長に高橋氏選出

「クリーンな組織目指す」

日本歯科医師連盟(高木幹正会長)は20日、第124回評議員会を東京・市谷の歯科医師会館で開いた。6月で任期満了になる役員改選では、新会長に現副会長の高橋英登氏、監事に神奈川の中村昌人、長野の滝澤隆、大阪の川野敏樹の3氏を選出。評議員会後の会見で高橋新会長は「若い歯科医師が連盟活動に参画してもらえよう、クリーンな組織を目指す」と抱負を語った。一方、評議員会で高木会長は、日刊紙等が報じた「迂回寄付」問題について、誤解がないようコンプライアンスを遵守した執行体制を約束した。

25日(水) ▶女性歯科医師 活躍の場を議論

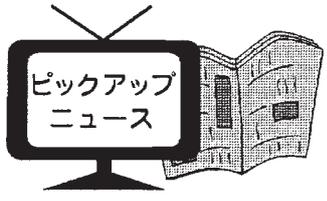
厚労省検討会ワーキンググループ

厚労省は、歯科医師の資質向上に関する検討会の「女性歯科医師の活躍に関するワーキンググループ」の初会合を18日に開いた。同省が女性歯科医師を焦点にした会議を設置したのは今回が初めて。座長は国立保健医療科学院研究部長の三浦宏子氏で、九州大学名誉教授・福岡学園理事長の水田祥代氏、大阪大学大学院教授の林美加子氏、東京医科歯科大学教授の森尾郁子氏のほか、日本歯科医師会副会長の富野晃氏や日本歯科大学生命歯学部学部長の羽村章氏がメンバー。

4月1日(水) ▶ 専門・認定分科会 会員増トップはインプラント
日本歯科医学会が42学会を調査

日本歯科医学会の専門・認定分科会のうち、この1年で会員数が最も増えたのは日本口腔インプラントで、524人増だった。次いで日本歯周病学会291人増、日本顎咬合学会257人増と続く。毎年3月末に発行される日本歯科医学会誌(JJADS)に掲載される学会活動報告を基に前年と比較したもので、42学会について会員数の増減を調べた。

2日(木) ▶



- 日本学術振興会の第5回育志賞に、北海道医療大院生の真島いづみさんが歯垢作る細菌研究で（北海道新聞・3月27日）
- 青森県歯科医師会は初の歯科支援車「8020健康社会号」導入（デリー東北・30日）
- 神奈川歯科大元理事長らに9億5千万の賠償命令（読売新聞・31日）

7日(火) ▶ 社保・26年12月診療分 歯科は点数5.5%増
前年同月比 件数は4.3%の増

社会保険診療報酬支払基金による平成26年12月診療分の総計確定件数は878万4千4百件、点数は134億1千712万8千点で、前年同月に比べ、件数は8.0%、点数は6.6%増加した。

12月の稼働日数は23.0日（うち土曜日4.0日）で、対前年同月比で増減はなかった。

歯科は1億056万8千件、124億4648万4千点で、前年同月に比べ、件数は4.3%、点数は5.5%増加した。

社保 診療種別支払確定件数及び点数

(26年12月診療分)

診療種別	件数 千件	対前年 同月比 %	構成 割合 %	点数 千点	対前年 同月比 %	構成 割合 %	
総計	87,844	108.0	100.0	134,171,268	106.6	100.0	
医科	計	47,808	107.4	54.4	92,828,416	105.9	69.2
	入院	790	101.6	0.9	38,323,583	102.2	28.6
	入院外	47,018	107.5	53.5	54,504,834	108.6	40.6
歯科	10,568	104.3	12.0	12,446,484	105.5	9.3	
調剤	29,401	110.2	33.5	28,896,368	109.7	21.5	
食事・生活療養費	672	101.4	0.8	—	—	—	
訪問看護療養費	68	120.6	0.1	—	—	—	

(注) 件数の総計は、食事・生活療養費を除く数値。点数の総計は、食事・生活療養費、訪問看護療養費を除く数値。社会保険診療報酬支払基金の統計月報を基に本紙で集計したもの。

第21回 社会保険部検討委員会報告

平成27年3月7日(土) 16:00～19:00

1. 報 告

(1) 2月新入会員 なし

(2) 支払基金幹事会 2月9日(月) 14:00 酒井 会長

・平成26年11月診療分

前年同月対比 支払額 99.9% 件数 101.0%

前 月 対 比 支払額 94.2% 件数 97.2%

・本人 レセプト1件当たりの平均点数

平成26年10月診療 岡山県 1,317.9点 全国平均 1,297.4点

平成25年10月診療 岡山県 1,318.2点 全国平均 1,296.3点

前 年 同 月 対 比 岡山県 99.98% 全国平均 100.1%

・家族 レセプト1件当たりの平均点数

平成26年10月診療 岡山県 1,058.9点 全国平均 1,097.9点

平成25年10月診療 岡山県 1,048.0点 全国平均 1,090.4点

前 年 同 月 対 比 岡山県 101.0% 全国平均 100.7%

(3) 中国四国厚生局岡山事務所と面会 2月19日(木) 17:30 応接室

西岡 常務理事, 田頭 理事, 石戸 理事

(4) 中国地方社会保険医療協議会 岡山部会

2月24日(火) 13:30 西岡 常務理事 歯科の新規指定医療機関なし

(5) 支払基金本部 難波審議官と面会 2月26日(木) 17:30 応接室

酒井 会長, 西岡 常務理事, 田頭 理事, 石戸 理事

(6) 国保審査委員会報告 (レセプト1件当たりの平均点数)

平成26年10月診療 国保 1,367.7点 後期高齢者 1,581.0点

平成25年10月診療 国保 1,383.2点 後期高齢者 1,574.3点

前 年 同 月 対 比 国保 98.9% 後期高齢者 100.4%

(7) 社保相談窓口報告

(8) そ の 他

2. 行事予定

- (1) 個別指導 3月19日(木) 14:00 薬業会館 3医療機関(会員)
- (2) 中国四国厚生局との事前打合せ 3月19日(木) 17:00 薬業会館
西岡 常務理事, 田頭 理事, 石戸 理事
- (3) 中国四国厚生局との協議会 3月26日(木) 17:00 第2会議室
酒井 会長, 藤井 副会長, 黒住 副会長, 大嶋 専務理事, 西岡 常務理事, 田頭 理事, 石戸 理事
- (4) 都道府県歯科医師会社会保険担当理事連絡協議会 4月2日(木) 13:00 日本歯科医師会館
西岡 常務理事, 田頭 理事, 石戸 理事
- (5) 審査・検討小委員会 4月4日(土) 15:00 第1会議室
5月2日(土) 15:00 第1会議室
- (6) 第22回 検討委員会 4月4日(土) 16:00 第3会議室
第23回 検討委員会 5月2日(土) 16:00 第3会議室
- (7) 新入会員社保研修会 4月4日(土) 19:00 第3会議室他
対象10名 出席10名 欠席0名
- (8) 同窓会社保講習会
・九州歯科大学岡山県同窓会 4月26日(日) 11:00 第3会議室 西尾 検討委員

3. 協 議

- (1) 「検討委員会からのお知らせ」について
- (2) 「そこが知りたいQ&A」について
- (3) そ の 他

第142回学術集談会（岡山市歯科医師会第205回学術臨床放談会併催）後記



平成27年2月22日(日)に岡山県歯科医師会館5階大ホールにおいて、第142回学術集談会（岡山市歯科医師会第205回学術臨床放談会併催）が開催されました。白石和仁先生（北九州市開業）を講師に迎え、～白石和仁先生の白熱教室～「そこまでやるか？ -Perioはしつこさが命-」という演題でご講演いただきました。

講演の前半では、白石先生は抜歯の基準をつくらず、歯を保存するために全精力を注ぎ込むことをモットーとし、もし抜歯に至ったとしても、歯科医師は何故その歯が残せなかったのか、どうしたら残せたのかを考え、抜いた歯の数だけ成長していかなければならないと述べられました。

次に、白石先生が以前から実践されている骨膜グラフトについて解説されました。現存する支持組織をなるべく減らしたくないという思いで新たな術式の試みとして始められた骨膜グラフトでしたが、最近の文献を交えながら骨膜に骨形成能を有する可能性について、臨床での有用性について教示していただきました。

午後からの講演では、エムドゲインを用いた歯周組織再生療法について、白石先生の素晴らしい症例を交えながら解説していただきました。ヨーロッパではSAVE TEETHの考えが強いこと、コルテリーニヤトネッティーが提唱するMISTという新技術の紹介など再生療法の潮流についてもお話いただきました。

白石先生の症例を拝見し、治療技術の高さはもちろんのこと患者さんの歯肉の美しさやプラークコントロールの高さに気づかされました。再生療法を成功に導くには、適切な歯周基本治療を行うことのみならず患者さんの歯周治療への積極的な参加が不可欠であることを再確認いたしました。

朝から夕方までの長丁場でしたが、白石先生には再生療法について熱く語っていただき、まさに白熱した講演会になりましたことを厚く御礼申し上げます。

（大江丙午）

会員発表を終えて

真庭歯科医師会 西尾 泰正

先日の会員発表では、つたない発表ではありましたが、多くの先生方の前で症例報告させていただき大変有難うございました。また、白石先生には多くの気づきを頂き大変に勉強になりました。我々臨床家はそれぞれの患者様に対し、自分自身の持てる技術を駆使し、出来るだけ多くの治療法を提示し、最善の方法に取り組むように日々診療に従事していると思います。各先生方において、色々なアプローチの仕方があると思いますが、目の前の患者様を良くしたいという思いは同じだと思います。今回の発表

でこんなアプローチの仕方もあるなという一つのヒントになれば幸いです。また、症例を通して日々のコンスタントな資料収集の重要性を再認識しました。これからも患者様の為、自分自身の為に日々の臨床に邁進してまいりたいと思います。

岡山市歯科医師会 前田 武将

今回は、このような発表の機会を与えていただきありがとうございました。症例をまとめ、それを講師の先生のもとで発表することは、準備等に大変時間と労力がいましたが、その反面とてもいい刺激と明日からの診療の取り組み方におけるいいモチベーションを頂けたと思います。自分一人で日々の診療に追われていると、診療室のモニターの画面だけでは治療が順調に進んでいるか否かの客観的な評価はできないものです。その普段できないことを、症例をまとめることで自分自身の力量を把握することもでき、さらに日本でトップクラスの講師の先生にコメントを頂けたことは、日々行っている方向性の確認もでき、いろいろなケースにチャレンジしていく勇気を頂けたと思います。本当にありがたいことだと思いました。数年経って、またこのような機会がいただけるならありがたいことではないかと思ひ、これからの診療を頑張っていこうと思ひました。今後ともご指導よろしくお願ひいたします。

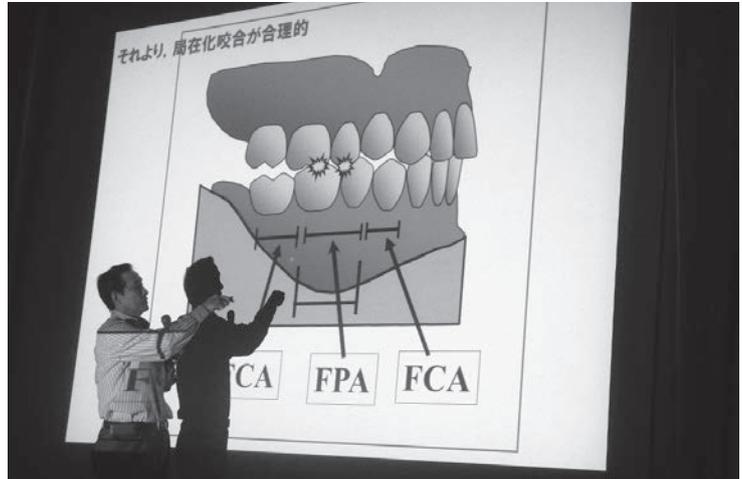
御津歯科医師会 金田 貴哲

県歯・岡山市歯科医師会講演会という大きなイベントに発表者として参加させていただき、ありがとうございました。発表者の内容に対する講師のコメントは、普通ならば少しオブラートに包んだような言い方になりますが、講師の白石先生とは師弟関係にあるため、今回は、素直なコメントをいただきました。会員の先生方も興味深くお聞きいただけたかと思ひます。白石先生の発表はもちろんのこと、我々3人の発表を聞いていただき、会員の先生方にも少し刺激が与えられたのではないかと思ひます。一方通行ではない、身近な会員発表を交えた今回の企画、まさに学術部のナイスショット！だったのではないのでしょうか。本当にありがとうございました。



「皆木教授の出張義歯講座」第三回 (高梁・真庭・新見地区) 後記

平成27年4月4日に、真庭リバーサイドホテルにおいて、「皆木教授の出張義歯講座」第三回が「苦手な入れ歯が面白く－おもしろ噛める作製・調整へのいろは－」と題して、満開の桜の中開催されました。今回は県北西部3地区の歯科医師会・会員の先生方を対象に行われ、他地区の方も含め35名の参加をいただきました。



この出張義歯講座は、「義歯で困っている患者さんを幸せにしてあげたい」「県歯会館に来館しにくい地区にはこちらから出向いていきます」「会員の皆さんが聞きたい内容をお話します」「講演費用は不要です」との皆木教授のご厚意で始まりました。したがって、講演内容は各地区からのアンケートの内容や質問に即して決まります。今回のアンケートでは、各地区学術委員の先生のお骨折りもあり、回答数は30/51名、自由質問も30件が寄せられ、会員の有床義歯臨床への関心の深さが伺えました。以下講演内容を抜粋させていただきます。

講演内容要旨

- ・人工歯排列に関する技工士への指示は格別重要ポイント
 - リンガライズドオクルージョンにする。
 - 上顎人工歯の舌側咬頭は歯槽頂より1mm内側に置く
 - 上顎人工歯の舌側咬頭は下顎の人工歯の中心窩に咬ませる。
- ・落ちる義歯の95%は、咬合の修正で治る（修正のポイントについて）
- ・咬合を修正しても、落ちる上顎義歯の研磨面形態は「ウイイー」で作る
(頬筋の下部が義歯を支える)
- ・上顎義歯を装着すると、嘔吐感がでる症例の原因と対策は？
義歯の動きを止める
- ・パラタルバーの設定位置は？(違和感の少ない場所は？)
パラトグラム(ラ音発音)でみると、ここしかないというところがある
- ・下顎義歯を安定させる方法は？
義歯床縁は少しでも長すぎると0点！
義歯床縁のセグメントごとの過長診断法

下顎前歯人工歯の位置はどこが正しい？ どうやって決める？

リベースで以前より安定しなくなる場合があるのはどうして？

義歯床外形の調整は「ちょっとやってみました」では、だめです。

- ・ 要介護者は、食べさせてもらうので、健常者と少し違う。

「カチカチ、フーアーユー」と「カチカチアララ」で床の過長を判断する。

- ・ 下顎の吸収が不均一でスキーズーンと呼ばれる部位が多いときの咬合はどう与える？ ……局在化咬合で難症例が乗り切れる理由

- ・ 咬まないときには安定しているが、食事をすると痛い義歯は何が悪いのか？

- ・ 下顎義歯の痛みの原因

①義歯が動くから（床縁の長さ？咬合？）

咬合 …… 中心咬合位の水平的位置が合っているかの簡単な判断方法

顎堤の形態に人工歯の位置と咬合が合っているか？

②日中の噛みしめ（見つけ方と対応）

噛みしめをしている人は、顎堤がでこぼこしていて歯槽頂が白い

（TCHの患者の訴え …… 2～3日は調子良かったがその後痛くなった）

対応はやめてもらうのが一番だが、それが難しいときの対応方法

（トクソー ソフリライナースーパーソフトを5mm以上の厚さで貼る。→義歯が割れるので、最終義歯は金属床にしないとイケない）

- ・ 意味のあるリングライズドオクルージョンとは？

- ・ 義歯に関連してくる失行（運動麻痺や精神病ではないのに、意志的な行動がとれない）（例：義歯は外せるが再度装着ができない）とは？そして、その対応は？

講演は、2時間という限られた時間のためハイペースで行われましたが、「非常に面白く、解かり易



かった」「また、是非来てほしい」との感想を多くの先生方からいただき、有意義な「出張義歯講座」となりました。まだ、この「出張義歯講座」はあと1回、津山地区で開催されますので、興味をお持ちの先生は、他地区の歯科医師会からの参加も歓迎しますので、是非ご参加ください。

（副委員長 中島 啓一朗）

医療管理ニュース Vol.47

歯科医師国家試験の合格率は今年も低迷！

第108回歯科医師国家試験は1月31日と2月1日に実施され、出願者数3,695人、受験者数3,138人、合格者数2,003人、合格率は63.8%であった。

10年前の合格率は74.6%、合格者数2,493人、5年前の合格率は69.5%、合格者数2,408人と徐々に減少し、昨年は合格率63.3%、合格者数2,025人であった。合格者数は、2,000人を割る勢いで、歯学部卒業生にとっては大変な時代の到来である。また、昨年の文科省医学教育課の調査では、最低修業年限での国家試験合格率は国公立大学合計で53.9%にすぎず、学費を負担する親にとっても大変な時代の到来である。

学校名	総数			新卒者			既卒者		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
国公立									
北海道大学	64	50	78.1%	47	42	89.4%	17	8	47.1%
東北大学	64	46	71.9%	53	40	75.5%	11	6	54.5%
東京医科歯科大学	71	58	81.7%	51	43	84.3%	20	15	75.0%
新潟大学	56	34	60.7%	46	31	67.4%	10	3	30.0%
大阪大学	63	49	77.8%	52	44	84.6%	11	5	45.5%
岡山大学	60	48	80.0%	49	43	87.8%	11	5	45.5%
広島大学	66	50	75.8%	53	43	81.1%	13	7	53.8%
徳島大学	57	41	71.9%	43	33	76.7%	14	8	57.1%
九州大学	59	45	76.3%	49	40	81.6%	10	5	50.0%
長崎大学	51	37	72.5%	37	28	75.7%	14	9	64.3%
鹿児島大学	60	47	78.3%	51	43	84.3%	9	4	44.4%
九州歯科大学	112	87	77.7%	85	74	87.1%	27	13	48.1%
国・公立計	783	592	75.6%	616	504	81.8%	167	88	52.7%
私立									
北海道医療大学	107	68	63.6%	74	47	63.5%	33	21	63.6%
岩手医科大学	97	48	49.5%	47	30	63.8%	50	18	36.0%
奥羽大学	163	63	38.7%	63	24	38.1%	100	39	39.0%
明海大学	123	73	59.3%	84	53	63.1%	39	20	51.3%
日本大学松戸	143	94	65.7%	89	65	73.0%	54	29	53.7%
東京歯科大学	123	115	93.5%	116	109	94.0%	7	6	85.7%
日本歯科大学	159	102	64.2%	105	69	65.7%	54	33	61.1%
日本大学	167	117	70.1%	90	70	77.8%	77	47	61.0%
昭和大学	121	92	76.0%	96	76	79.2%	25	16	64.0%
鶴見大学	140	77	55.0%	62	41	66.1%	78	36	46.2%
神奈川歯科大学	131	87	66.4%	70	56	80.0%	61	31	50.8%
日本歯科大学新潟	115	62	53.9%	68	41	60.3%	47	21	44.7%
松本歯科大学	162	46	28.4%	47	16	34.0%	115	30	26.1%
愛知学院大学	160	107	66.9%	111	77	69.4%	49	30	61.2%
朝日大学	152	83	54.6%	80	53	66.3%	72	30	41.7%
大阪歯科大学	151	96	63.6%	93	72	77.4%	58	24	41.4%
福岡歯科大学	135	77	57.0%	82	53	64.6%	53	24	45.3%
私立計	2349	1407	59.9%	1377	952	69.1%	972	455	46.8%
認定及び予備試験	6	4	66.7%	2	1	50.0%	4	3	75.0%
その他計	6	4	66.7%	2	1	50.0%	4	3	75.0%
総合計	3138	2003	63.8%	1995	1457	73.0%	1143	546	47.8%

平成26年度 レクリエーション大会のご報告 (東日本大震災復興支援チャリティー大会)

「忘れない3.11 家族の絆 東日本復興チャリティーパーティー」

平成27年2月15日(日)岡山プラザホテルにて「忘れない3.11 家族の絆 東日本大震災復興チャリティーパーティー」が開催されました。会員や従業員とそれらの家族、134名の参加者がありました。昨夏、会員と従業員およびそれらの家族を対象として木下大サーカスの鑑賞会を予定し、500名というたくさんの参加申し込みがありました。残念なことに台風の影響で開催が中止となりました。今回このチャリティーパーティーを開催するに当たり、サーカスを楽しみにされていた会員家族や従業員家族、特に子供たちに楽しんでもらおうという趣旨で企画をいたしました。「玩具すくい」「玩具の釣堀」「ポップコーン」「的当てゲーム」などの子供向けの模擬店、クラウンAKIO氏のストリートパフォーマンス、津山ホルモンうどんコーナー、また今回参加者の約半数が女性の方ということで、大ビンゴ大会も女性向けの賞品もそろえ、参加していただいた方々には楽しんでいただけたのではと思います。

文化事業部会では今年度も昨年度に引き続きすべての事業を「東日本大震災復興支援チャリティー大会」として義援金を募っておりましたが、今回のパーティーでの160,734円を含め、今年度の義援金が245,345円となりました。ご協力に感謝いたします。

(理事 黒木祐二)



会館ギャラリー

都窪歯科医師会 写真展のご案内

4月7日(火)より、都窪歯科医師会の先生方のお写真を展示しております。
五重塔と夜桜が美しい「春の雨」や、写真一杯に小さな花が咲き乱れている「彩」など、美しい写真ばかりです。会館にお立ち寄りの際は、是非ご覧下さい。

展示作品

「静」	竹下 信義 先生
「彩」	竹下 信義 先生
「春の雨」	山下 聡 先生
「北へ帰ろう」	山下 聡 先生
「春を待つ灯り」	後藤 弘幸 先生
「足元の風景」	弘末 勝 先生
「撮り鉄を集めて走るローカル線」	矢尾 尚武 先生
「これ以上向こうへ行くなインタビュー」	矢尾 尚武 先生



会館ギャラリーでは写真、絵画等の展示作品を募集しております。

個人の先生だけではなく、地区歯科医師会、同窓会等の同好会からの作品も募集しておりますので、県歯事務局までお問い合わせください。

津山歯科医師会

「ふるさと探訪 2015」

津山歯科医師会は3月1日「ふるさと探訪」で日帰りバス旅行を楽しみました。

会員とご家族総勢26名が向かった今回の目的地は、芸術のアイランド瀬戸内海の「直島」です。あいにくの雨ではありましたが寒さも和らぎ、春の一日を傘をさしながら瀬戸内海の島で過ごしました。

津山歯科医療センターを出発し、まず備中国分寺を拝観しました。吉備路を代表する歴史的シンボル五重塔を見上げその立派さに感心しつつ、梅の花も咲いておりその香りに春を感じることが出来ました。

昼食は宇野の和食処「池田屋」で大変活きのいい魚料理をゆっくりと堪能しました。企画していただいた文化部理事 安藤哲哉先生から「今回は昼食を期待してください」と聞いていた通り大満足、大満腹のご馳走でした。

フェリーで20分、いよいよ直島に到着です。直島では2グループに分かれて「家プロジェクト」と「地中美術館」を見学しました。

「家プロジェクト」では古民家を改築して現代美術と融合させた作品が、ある地区に点在し、それらを歩いて見学していきます。目立った案内がないのでちょっと見逃してしまうような場所もありましたが、目の暗順応を面白く利用した作品もあり楽しめました。

「地中美術館」は名前の通り地中にあり外観は全くない不思議な美術館で、有名な「モネの睡蓮」も鑑賞できます。ここにも目の錯覚を利用した現代美術もあり不思議な空間を体験できました。

出発からあいにくの雨でしたが、会員とご家族も一緒においしい食事を堪能し、瀬戸内海の島を散策してほんの少し運動した気分にもなれた楽しい春の一日でした。



倉敷歯科医師会

平成27年度 歯と口の健康週間特別行事

第39回 歯の健康フェア

日時 **6/7** 日 午前10時～午後3時30分
会場 倉敷市笹沖180番地(倉敷市保健所隣)
くらしき健康福祉プラザ

P 無料駐車場あり

すべて **無料**

食育について楽しく学ぼう!!

咬むこと面白ゼミナール

私生活ショー

倉敷歯科医師会が生んだ世紀のスーパーヒーローカムンジャーもでるんじゃ～!

【時間】開演/午後1時30分～午後2時30分

【場所】プラザホール(5F) 協力:くらしき作陽大学

新しい歯ブラシと交換します!!

歯ブラシ感謝祭

古い歯ブラシ1本につき、1本交換。
(最大家族分まで)

大災害に備えて歯の記録を残しましょう!!

家族の絆プロジェクト

楽しいイベント!!

- 健康レクリエーション**
 - 指型コーナー(岡山県歯科技工士会)
 - 介護口腔ケアコーナー
 - わくわく工作
 - 豆つかみ選手権
 - 健康くらしき21コーナー
- 虫歯予防**
 - 予防コーナー(岡山県歯科衛生士会)
 - フッ素洗口体験
- 歯科相談**
 - 口腔がん検診(岡山大学病院)
 - 歯の健康力測定
- お楽しみ企画**
 - すてきな景品がもらえる!!
 - スタンプラリー実施
 - 応募作品を展示してます
 - 倉敷スマイルフォトコンテスト

イベントだらけのぱらだいす!!
もぐげんももわん!!



本当に役立つ!!

救急蘇生講習会

AED体験実習コーナーもあります

【時間】午前10時～正午/午後1時～午後3時

歯科医院体験ができる!!

歯医者さん・技工士さん
歯科衛生士さん体験



【時間】午前10時～午後3時

【場所】体育館(4F)

【対象】小学生以上 **予約可**

※詳しくは、お問い合わせ下さい

講演会



「キレイで
いるための
歯の健康」

講師: ひとみ たえ 歯科医・エッセイスト・女優
一青 妙氏 (歌手の一青 窈は実妹)

●著書/「私の箱子」台湾でも出版され2013開巻好書賞を受賞
「私の台南～「ほんとうの台湾」に出会う旅」(新潮社) など

【時間】午前10時～正午

【場所】プラザホール(5F)

※事前予約が必要です、下記まで、お申し込み下さい

要予約
先着250名

主催/倉敷歯科医師会・岡山県歯科医師会 共催/倉敷市・倉敷市教育委員会・岡山県・岡山県歯科衛生士会・岡山県歯科技工士会 後援/FMくらしき・倉敷ケーブルテレビ・山陽新聞社(50音順)

お問い合わせ・お申し込み先
倉敷歯科医師会 〒710-0057 倉敷市昭和2丁目2-17
TEL. 086-422-2122
倉敷歯科医師会ホームページ <http://www.kuradent.jp/> FAX. 086-426-9200

FMくらしき 小野須磨子のごいちラジオ
「あなたのお口を守り隊」絶賛放送中!!
毎月第4木曜日 午後2時25分～

高梁歯科医師会

「海の幸・山の幸 山陰飽食バス旅行」



3月14日・15日に山陰に親睦旅行に行きました。

午前の診療を終え、午後1時に集合しメルセデス社製トイレ付き豪華サロンバスに乗り込み山陰香住温泉に向け高梁バスセンターを出発しました。参加者は八木会長をはじめ総勢12名です。車中の宴会でひたすら盛り上がりながらの道中でした。

香住温泉では夕食まで散策をしたり、温泉を楽しんだりとゆっくり過ごしま

した。お待ちかねの夕食は松葉ガニのフルコースで刺身、焼き、蒸し、鍋としっかり堪能しました。朝食も山陰ならではの魚を中心としたものでしたが、珍しかったのは直径10センチ程のプレートに固形燃料が備えられているものがあり「こりゃあなんじゃろうかあ?」と言っていると、どうやら生卵が苦手な人のための目玉焼き作製アイテムだと解りました。

2日目の観光ではまず余部鉄橋『空の駅』を訪れました。旧余部鉄橋は、明治45年に建設された東洋随一の鋼トレスル橋です。しかし、昭和61年の列車転落事故を契機に架け替えられ現在の余部橋梁となりました。旧鉄橋の一部を展望施設として残し、公園施設とあわせ整備されたのが余部鉄橋『空の駅』です。日頃の運動不足と老体に鞭打って遥か頭上の空の駅まで全員が上がって行きました。そこから見下ろす日本海の景色は絶景でした。旧鉄橋が建設された当時、日本が青年のように生き生きとしていた時代に思いを馳せる一瞬でした。

次に訪れたのは「なんでも鑑定団」で知られる円山応挙ゆかりの大乗寺です。樹齢約1200年のクスノキの巨木を見上げながら石段を登り山門をくぐると本堂正面に置かれた応挙の座像が出迎えてくれます。内部は十一面観音立像（国宝）を中心に応挙とその弟子たちによる客殿の障壁画によって立体曼荼羅が構成されています。ガイドさんの説明に只々感嘆の声をあげて見学しました。

昼食は湯村温泉にて但馬牛のステーキです。これはもう云う事はありません。ご想像にお任せします。食後は温泉街にて足湯に浸かりながら湧泉で茹でた卵を食べる人、本場但馬牛をお土産に買い求める人など自由に過ごしました。

最後は、浜坂港で海産物の買い物です。松葉ガニや鮮魚に干物、練物などをいっぱい買い込んで帰路につきました。

今回の旅行の幹事を務めて下さいました黒瀬先生ありがとうございました。とっても楽しい2日間でした。

(モニター 藤本誠司)

「魔法のチョコレート？」

岡山市歯科医師会 草野 弘揮

昨年10月の終わりごろ、子供を連れてスーパーに買い物に立ち寄りました。そこで、岡大歯学部口腔生理学教室のM先生と偶然お会いしました。M先生はいつもながらの消え入りそうなかすれ声で話しかけて下さいました。「(子供たちには)甘味制限しているの？」という問いに、私は「一応しています」と答えたのですが、・・・間もなくしてM先生はミッキーとミニーのチョコレートを買ってこられ、「子供たちにどうぞ」とプレゼントして下さいました。

その日の晩、食後のデザートに、ミッキーのチョコレートを息子に、ミニーを娘に与えました。久々のチョコということもあってか、当時4歳の息子はすぐさまペロリとたいらげました。しかし、2歳になったばかりの娘は、ミニーちゃんチョコを持ったまま眺めていました。ミニーちゃんがあまりにかわいかったようで、食べることができなかつたのです(´・`;)。すると、お兄ちゃんも一緒になって、ミニーちゃんをかわいがってくれました。大事そうに眺めたり、お布団をかけてあげたりして、1時間程かわいがっていました。しかし、段々とチョコがとけてくると、諦めがついたのか、娘はとうとうチョコを食べ始めたのでした。歯科医の立場として、虫歯予防の観点から、甘いものはさっさと食べ終えて欲しかったのですが、父親の目線からは、チョコレートを食べあぐねている娘の姿、それを気遣う息子の姿がほほ笑ましくもあり、何とも複雑な思いでした。



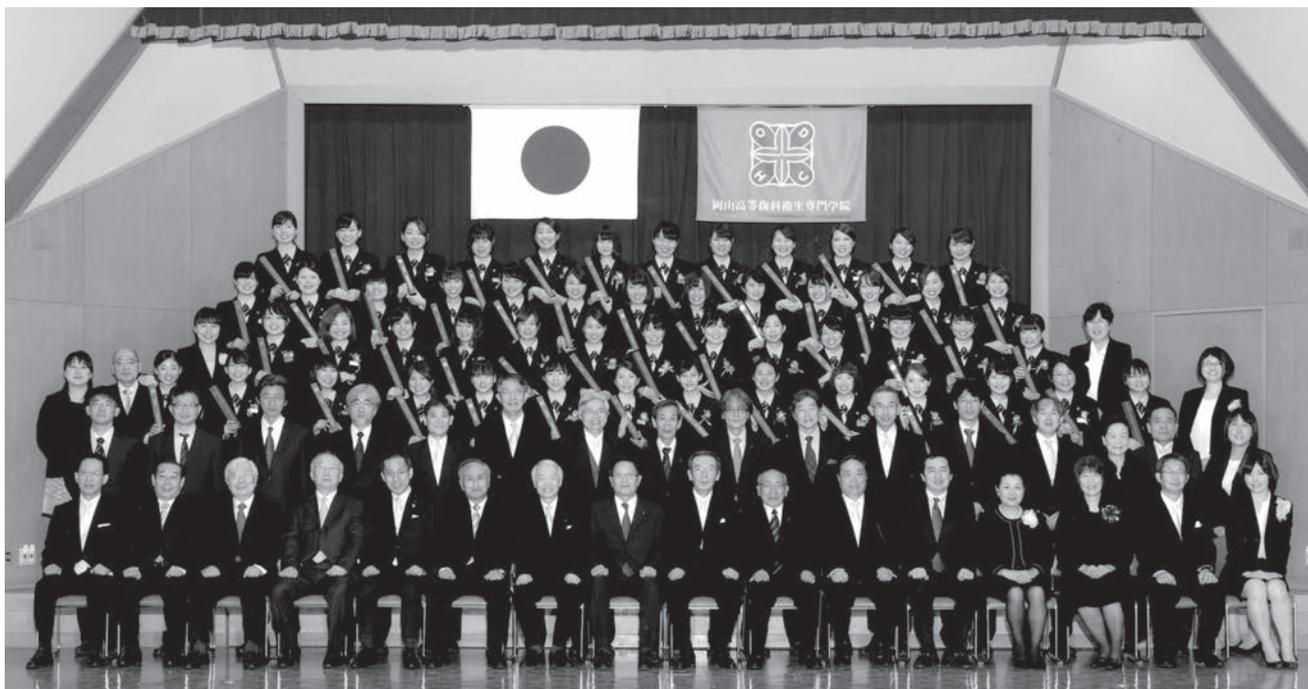
それからたった数日後、ディズニー柄の封筒が届きました。中を空けてみると、なんと、東京ディズニーランドの招待券でした!! JCBの抽選に当たったのです。私は申し込んだこともとっくの昔に忘れていたのですが・・・。M先生には予知能力でもおありなのでしょうか(笑)。あるいは、チョコレートに何か魔法が掛かっていたのかもしれない(娘も魅了されていたようです)。

思えば、開業してからのこの4年間、借り入れの返済に追われ、ろくに家族旅行もできていませんでした。今ならディズニーランドに行ける。いや、行って来なさいという神のおぼし召しかもしれない。そのような気がして、東京行きを決めたのです。

今回の東京旅行は多少のトラブルにも見舞われましたが、何とか行って帰ることができました。私たち夫婦にとっては初のディズニーランドで、子供らも遊園地デビューを果たしました。既に「次はディズニーシーに行きたいね」と、子供や妻からのプレッシャーを掛けられている今日この頃です。

次回は横山 穰先生(岡山市歯科医師会)をご紹介します。

第55回 卒業証書授与式



幾分春めいてきたとはいえ、小雨が降り肌寒い3月7日(土)、岡山県総合福祉会館に於いて第55回卒業証書授与式が挙行されました。

55期生52名の卒業生が、ご来賓、保護者、学院講師、職員、そして在校生の拍手の中を入場し、藤井龍平 学院長より、一人ひとりに卒業証書が授与されました。また、多くの卒業生に学院長賞、会長賞を始めとする表彰状が授与されましたが、特に皆勤賞、精勤賞受賞者が29名にのぼることは、正に学生達が3年間学業に精励し、学院の良き伝統を継承してくれている証左であると思います。

その後、藤井学院長より「学院で習得したことを基本とし、自信を持って惑わず、銜わず、諂わず、患者を第一義として頑張ってもらいたい」また、「自分自身に厳しい倫理観を持ち社会と触れ合うこと。生涯に渡り研鑽を積むこと。いつでも、どこでも、誰とでもコミュニケーションを図れるよう努力することが必要である」との告辞がなされました。

酒井昭則 岡山県歯科医師会会長からは「国家試験というひとつの目標に真正面から向き合う姿勢を52名が共有し、お互いに励まし合い支え合って頑張ったことだと思う。新たな友情と新たな絆を生み出し、より強くより深いものとしたことと思う。その友情と絆を大切に、自分を見失わず、自身の目指すところを見つけて一步一步着実に歩んでもらいたい」との式辞をいただきました。

また、多数のご来賓のご臨席を賜り、窪木拓男 岡山大学歯学部長、武田明美 岡山県歯科衛生士会会長より温かいご祝辞をいただきました。

卒業生52名は、3年間の学院生活の思い出を胸に、それぞれの道に向かって学舎を巣立っていきました。

(教務担当講師 山口 威)

愛知学院大学歯学部同窓会学術講演会のご案内

「臨床で役立つツボ刺激法 —原因不明の疼痛・不定愁訴の緩和—」

ストレス多くを抱える現代社会において、人々は様々な痛みを訴えます。

また、加齢とともに身体のアちらこちらに不定愁訴が現れます。東洋医学である鍼灸の理論と効果を学び、ご自身の健康管理や日々の診療に少しでも役立てていただければと考えます。

講師 山口 大輔 先生（朝日医療専門学校岡山校 鍼灸学科 学科長）

日時：平成27年6月27日(土) 19:00

会場：岡山県歯科医師会館 3階 第3会議室

会費：無料

申込み方法：お名前 貴医院名 ご住所 電話番号 参加人数を原尾島歯科まで
FAXまたはEmailでお知らせください。

会場・資料の都合上6月20日までに申込をお願いします。

お問い合わせ：原尾島歯科 TEL 086-272-6480 Email: haraojimasika@gmail.com

FAX 086-271-1659

備考：愛知学院同窓会以外の先生方の御参会もお待ちしております。

歯科衛生士も参加可能です。生涯研修カードをご持参下さい。

お知らせ

日曜・祝日の開館予定日 ○ 開館予定 × 閉館予定

5月	3日(日)～6日(水)		10日(日)	17日(日)	24日(日)	31日(日)
	×		○	○	△	×
	ゴールデンウィーク		10:00～15:00	10:00～15:00	会長予備選挙	
6月	7日(日)	14日(日)	21日(日)	28日(日)		
	○	○	○	○		
	10:00～15:00	10:00～15:00	10:00～15:00	10:00～13:00		

※行事等の都合により変更となる場合もあります。 ※詳細については事務局にお問合せ下さい。

日本歯科医師会

第43回産業歯科医研修会（平成27年度）実施要領

1. 目的

産業歯科医の資質の向上と産業歯科衛生の普及向上を図ることを目的に実施する。

日本歯科医師会が作成した「生活歯援プログラム」において、これまでの疾病の早期発見・早期治療を目的としたものから、疾患リスクの早期発見とする一次予防、及びそのリスクに対応した保健指導を担うことのできる歯科医師を養成し、産業歯科医の新たな職務として位置付けたい。

2. 主催：日本歯科医師会（産業医学振興財団委託事業）

3. 対象：歯科医師

4. 日程・研修内容

1回目	7月11日(土), 12日(日)	歯科医師会館
2回目	8月8日(土), 9日(日)	東京都千代田区九段北4-1-20

5. 受講の申し込みと受講料等

①正会員

開催期日30日前までに所属の都道府県歯科医師会に申し込む。受講料：無料。

②準会員

1) 第3種・第4種・第5種会員・・・開催期日25日前までに所定の用紙に必要事項を記入の上、日本歯科医師会地域保健課に直接申し込む。受講料：無料。

2) 第6種会員・・・開催期日25日前までに所定の用紙に必要事項を記入の上、日本歯科医師会地域保健課に直接申し込む。受講料：5,000円（教材費）を事前に日本歯科医師会の下記口座に振り込むものとし、受講手続き完了後は受講を辞退しても受講料は返金しない。

③未入会者

開催期日30日前までに歯科医師免許証の写しを添え、所定の用紙に必要事項を記入の上、日本歯科医師会地域保健課へ直接申し込む。受講料：5,000円（教材費）を事前に日本歯科医師会の下記口座に振り込むものとし、受講手続き完了後は受講を辞退しても受講料は返金しない。

注：開催日の7日前までに受講票が届かない場合は日本歯科医師会地域保健課までご連絡ください。

受講料振込先：三菱東京UFJ銀行市ヶ谷支店 普通預金 0050119

コウエキシャダンハウジン ニホンシカイシカイ

6. 問い合わせ

日本歯科医師会地域保健課

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-20

(TEL: 03-3262-9211 FAX: 03-3262-9885 Eメール: chiiki-info@jda.or.jp)

平成27年度会費等について

平成27年度にご納入いただきます会費等の金額は、先般の代議員会等で次のように決まりました。出費ご多端の折柄まことに恐縮ですが、ご了承ご協力下さいますようお願い申し上げます。

記

項 目		区 分	年 額 (円)	
岡山 県 歯 科 医 師 会	入 会 金	正会員、特別会員	700,000	
	会 費 (岡歯会報購読料含む)	平 等 割	正会員、準会員	70,000
		平 等 割	特別会員	180,000
		収 入 割	社保・国保 (窓口分を含む)	毎月 2.8/1000
	県歯新共済	加 入 金	入会時	201,000
		会 費	74 歳まで	30,000
			満 75 歳以上 80 歳まで (満 80 歳は免除)	加入期間による
歯科医師賠償責任保険料		1 医療機関につき	2,600	
日 本 歯 科 医 師 会	入 会 金	正会員 第 1 種	10,000	
		正会員 第 2 種	10,000	
	会 費	正会員 第 1 種	38,000	
		正会員 第 2 種	19,000	
	福祉共済保険料		加入者	102,000
	年 金 保 険 料	49 歳以下	一口 1,000 円/月	加入口数に 応じた額
50 歳~54 歳		一口 2,000 円/月		
月額 10,000 円以上 10,000 円単位 100,000 円限度		加入額		
中 国 地 域 連 合 会	負担金		800	
	学会費		1,500	

会員異動

3月末日現在 正会員数1,025名

◎退会

鬼塚 博之 正会員 都窪 P40

西岡 順三 正会員 井原 P56

(P = 会員名簿のページ)

5月の収納金

1. 本会

(1) 診療報酬割会費 (社保, 国保2月診療の窓口分を含む総診療費の $\frac{2.8}{1000}$ を控除)

2. 全国歯科医師国保組合

(1) 収入割, 均等割保険料調定額

(2) 収入割保険料 (平成26年支払いの窓口分を含む総診療費の $\frac{6.5}{1000} \times \frac{1}{12}$)

3. 日本歯科医師会

(1) 平成27年度前期分会費 正会員 第1種 19,000円

正会員 第2種 9,500円

(2) 福祉共済保険料 (6月分)

(3) 年金保険料 (6月分)

3月 会の動き

1日	摂食・嚥下リハビリテーション従事者研修会10周年記念講演会 家族の絆 (倉敷・児島・玉島・都窪)	5日	理事会 グループホーム歯科健診
2日	編集委員会 (集稿) 学術部正・副委員長会 公衆衛生部正・副委員長会	6日	家族の絆 (都窪) 平成26年度日本学校歯科医会予算決算特別委員会 (日歯)
3日	平成26年度第2回訪問看護推進協議会	7日	社会保険部 審査・検討小委員会 社会保険部 検討委員会
4日	グループホーム歯科健診 本会学院 一般入試C日程 日本歯科医療管理学会雑誌編集委員会 医事処理小委員会	8日	家族の絆 (岡山市・御津・津山・和気・吉備・小田・高梁・新見・勝英)

	氏家良人教授退官記念式典	20日	たばこフリーおかやま役員会
9日	支払基金幹事会		公衆衛生部正・副委員長会
10日	平成26年度第3回スポーツ医・科学委員会 岡山産業保健総合支援センター運営協議会 日学歯会長選挙 開票立会 本会学院 教務会議・一般入試C日程合 否判定会議	21日	公衆衛生部 移動正・副委員長会 岡山プライマリ・ケア学会学術大会 岡山歯科技工専門学校第40回卒業証書授 与式
11日	医療管理部合同小委員会 県健康推進会と面会 家族の絆（瀬戸内市）	23日	岡山県保健医療計画策定協議会・部会
12日	編集委員会（初校） 岡山県歯科保健対策協議会 家族の絆（赤磐） グループホーム歯科健診 第177回日本歯科医師会臨時代議員会 （～13日）	24日	第86回日本学校歯科医会総会 中国地方社会保険医療協議会岡山部会
13日	無料職業紹介事業許可証授与式 岡山県糖尿病医療連携体制検討会議及び 岡山県生活習慣病対策推進会議糖尿病 対策専門部会 世界会議2015（於 東京国際フォーラム ～15日）	25日	医療管理部正・副委員長会 編集委員会（終校） 歯科往診サポートセンター評価会議 平成27年度岡山大学歯学部謝恩会 岡山市歯科医師会臨時代議員会 日歯 第8回学術・生涯研修委員会 理事会
14日	岡山県歯科衛生士会第2回理事会 第1回加藤勝信岡山懇話会セミナー・懇 親会	26日	選挙管理委員会 中国四国厚生局岡山事務所との協議会 グループホーム歯科健診
15日	家族の絆（津山・吉備・浅口・笠岡市・井原）	27日	平成26年度歯科医療安全管理体制推進特 別事業評価会議 岡山県介護予防市町村支援委員会 都道府県地域医療構想（ビジョン）の策 定及び医療計画における都道府県歯科 医師会実務担当者連絡協議会
17日	社保研修会 学術部正・副委員長会 「健康おかやま21推進会議」及び「岡山 県地域・職域連携推進協議会」 本会学院 職員会議	28日	本会学院 新入生オリエンテーション 都道府県歯科医師会税務担当理事連絡協 議会 本会学院 新入生オリエンテーション
18日	平成26年度全国学校保健会会長会議 平成26年度岡山県在宅医療推進協議会	29日	臨時代議員会打合せ 第169回臨時代議員会 プライマリ・ケア学会岡山県支部総会 平成26年度岡山県歯科搬送治療システム 推進研修会
19日	理事会 常務理事会 編集委員会（二校） 訪問歯科診療機器入札 岡山県長寿社会課と面会		日歯主催「国民向けシンポジウム」 国保組合 全国歯科医師国民健康保険組 合会
		30日	日歯連盟との懇談会

5月・6月 本会の予定

5月1日	編集委員会（集稿）	30日	第56回日本歯科医療管理学会総会・学術大会（～31日）
7日	理事会 医療管理部小委員会	31日	本会学院 一日体験入学
10日	歯科助手資格認定講習会（開講式）	6月1日	編集委員会（集稿）
12日	厚生部共済事業部会幹事会	4日	理事会
14日	理事会 編集委員会（初校）	6日	本会監事会 予算・決算特別委員会
17日	歯科助手資格認定講習会(2)	7日	歯科助手資格認定講習会(3)
19日	厚生部共済事業部会監査委員会 厚生部共済事業部会委員会	11日	理事会 編集委員会（初校）
20日	編集委員会（二校） 医療管理部会	14日	歯科助手資格認定講習会(4)
21日	理事会	18日	理事会 編集委員会（二校）
22日	編集委員会（終校）	21日	歯科助手資格認定講習会（閉講式）
24日	日本歯科医師会主催「女性歯科医師の集い」	24日	医療管理部正・副委員長会
27日	医療管理部正・副委員長会	25日	理事会 編集委員会（終校）
28日	理事会	28日	第170回定時代議員会
29日	日本歯科医療管理学会理事会・各種委員会		

5月・6月 地区歯科医師会の予定

5月1日	岡山市 三役会	29日	倉敷 定例理事会 玉島 臨時総会
7日	津山 定例会	6月2日	和気 総会
8日	岡山市 理事会 児島 理事会 都窪 理事会	4日	岡山市 三役会 津山 定例会・定時総会
9日	御津 出張講座	5日	児島 理事会
12日	新見 理事会	7日	倉敷 「第39回歯の健康フェア」
14日	御津 学術講演会 玉島 理事会	9日	新見 理事会
15日	笠岡市 理事会	10日	玉野市 理事会
19日	岡山市 理事会	11日	玉島 理事会
20日	玉野市 理事会	12日	岡山市 理事会 都窪 総会 笠岡市 理事会
22日	倉敷 定例理事会	13日	玉野市 定時総会
24日	岡山市 ファジアーノ岡山団体観戦		
26日	津山 理事会		

17日 吉 備 理事会	25日 倉 敷 平成27年度定時総会
18日 勝 英 定例会	赤 磐 総会
20日 倉 敷 定例理事会	26日 岡山市 理事会
22日 児 島 総会	玉 島 総会
24日 岡山市 第6回定時代議員会・臨時代 議員会	笠岡市 総会
津 山 理事会	27日 御 津 総会
	吉 備 定時総会

こちら編集室

黒瀬 がんの原因は遺伝や環境でなく「不運」？

哲也 今年一月の科学誌サイエンスに発表された論文が話題になっています。研究はジョンス・ホプキンス大学の数学者クリスチャン・トマセッティ博士と遺伝学者バート・ボーゲルスタイン博士らのチームによるもので、31種のがんの発生機構を探り、評価対象とした成人がんのうち約3分の2がただの偶然であるというショッキングな内容でした。

体細胞は毎分千個以上の速度でDNAをコピーしてゆきますが、複写過程でどうしてもミスが生じます。この遺伝子の変異のがんの原因となります。ということは、細胞の増殖速度が速い臓器ほどがんが発生する確率が高くなるはずですが、研究チームは統計データから、がんの大半は生活要因や家族歴、つまり遺伝子が原因ではなく、不可避のコピーミスによる「不運」が原因であることを証明しました。

長年の喫煙や過度の日焼けなどは確かにがんのリスクを高めるとはいえ、偶然の不運と比べて原因となる可能性ははるかに低いということです。「がんは予防できない」とする従来からの一部の主張を裏付けるような結論とも言えます。

まさにがん予防に血道をあげている世の健康オタク達をガッカリさせる話です。

(不摂生をしてもがんにならない人たち、彼らは「優れた遺伝子」を持っているわけではなく、その大半はただ運が良いだけという分析のようです)

ただ、残り3分の1ほどは環境的要因や親から受け継いだ遺伝子に起因するものということにはなりますから、もちろん不摂生ががん発生にまったく無関係というわけではありません。まあ、あまり意味はないかもしれませんが、ご注意あれ。

2014年9月、 「損保ジャパン日本興亜」誕生!



損保ジャパン日本興亜

「株式会社損害保険ジャパン」と「日本興亜損害保険株式会社」は合併し、
「損害保険ジャパン日本興亜株式会社(略称:損保ジャパン日本興亜)」として、
2014年9月1日から新たなスタートをきりました。
私たちのこれからの取り組みに、どうぞご期待ください。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
岡山支店 法人支社
〒700-0913 岡山県岡山市北区大供 1-2-10
TEL.086(225)1045 <http://www.sjnk.co.jp/>

タマキは診療現場における最新の商品や

情報のご提供を通して歯科医療のご発展に貢献いたします。

お客様のご満足がタマキの最大の願いです。

株式会社玉井歯科商店

松山店 〒790-0011 松山市千舟町 8-67-8
TEL 089(941)1619 FAX 089(921)4344

高松店 〒760-0073 高松市栗林町 3-4-1
TEL 087(831)4491 FAX 087(833)9222

徳島店 〒770-0006 徳島市北矢三町 2-2-8
TEL 088(633)6250 FAX 088(633)6307

下関店 〒751-0875 下関市秋根本町 1-5-33
TEL 083(256)0330 FAX 083(256)0880

徳山店 〒745-0071 周南市岐山通 2-21
TEL 0834(21)0400 FAX 0834(32)4346

広島店 〒734-0014 広島市南区宇品西 3-1-14
TEL 082(251)1911 FAX 082(251)1922

福山店 〒720-0805 福山市御門町 2-4-37
TEL 084(923)5867 FAX 084(923)5874

岡山店 〒700-0925 岡山市北区大元上町 12-19
TEL 086(244)3429 FAX 086(244)3489

松江店 〒690-0015 松江上市乃木 3-17-47
TEL 0852(27)1916 FAX 0852(27)1972

米子駐在所 〒683-0805 米子市西福原 9-18-24
TEL 0859(23)3108 FAX 0859(23)3109

<http://www.tamadent.com>

解熱鎮痛剤

劇薬 **カロナール錠500**

アセトアミノフェン製剤

2錠*で変える日本の医療

*1回2錠(1000mg)、1日8錠(4000mg)を限度とする。

世界が認めた鎮痛薬

※18th WHO Model List of Essential Medicines (April 2013)

新発売**【警告】**

- (1)本剤により重篤な肝障害が発現するおそれがあることに注意し、1日総量1500mgを越す高用量で長期投与する場合には、定期的に肝機能等を確認するなど慎重に投与すること。〔2.重要な基本的注意(9)〕の項参照)
- (2)本剤とアセトアミノフェンを含む他の薬剤(一般用医薬品を含む)との併用により、アセトアミノフェンの過量投与による重篤な肝障害が発現するおそれがあることから、これらの薬剤との併用を避けること。〔2.重要な基本的注意(7)〕及び〔8.過量投与〕の項参照)

【効能・効果】

- (1)下記の疾患並びに症状の鎮痛
頭痛、耳痛、症候性神経痛、腰痛症、筋肉痛、打撲痛、捻挫痛、月経痛、分娩後痛、がんによる疼痛、歯痛、歯科治療後の疼痛、変形性関節症
- (2)下記疾患の解熱・鎮痛
急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む)
- (3)小児科領域における解熱・鎮痛

【用法・用量】

- 効能・効果(1)の場合**
通常、成人にはアセトアミノフェンとして、1回300～1000mgを経口投与し、投与間隔は4～6時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日総量として4000mgを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。
- 効能・効果(2)の場合**
通常、成人にはアセトアミノフェンとして、1回300～500mgを頓用する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、原則として1日2回までとし、1日最大1500mgを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。
- 効能・効果(3)の場合**
通常、幼児及び小児にはアセトアミノフェンとして、体重1kgあたり1回10～15mgを経口投与し、投与間隔は4～6時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日総量として60mg/kgを限度とする。ただし、成人の用量を超えない。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。

【用法・用量に関連する使用上の注意】

- (1)幼児及び小児の1回投与量の目安は右記のとおり。〔1.慎重投与〕及び〔2.重要な基本的注意〕の項参照) (2)小児科領域における解熱・鎮痛の効能・効果に対する1回あたりの最大用量はアセトアミノフェンとして500mg、1日あたりの最大用量はアセトアミノフェンとして1500mgである。

体重	1回用量	
	アセトアミノフェン	錠500
10kg	100 - 150mg	—
20kg	200 - 300mg	—
30kg	300 - 450mg	—

【使用上の注意】

- 1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)**
- (1)アルコール多量常飲者[肝障害があらわれやすくなる。〔3.相互作用〕の項参照] (2)絶食・低栄養状態・摂食障害等によるグルタチオン欠乏、脱水症状のある患者[肝障害があらわれやすくなる。] (3)肝障害又はその既往歴のある患者[肝機能が悪化するおそれがある。] (4)消化性潰瘍の既往歴のある患者[消化性潰瘍の再発を促すおそれがある。] (5)血液の異常又はその既往歴のある患者[血液障害を起こすおそれがある。] (6)出血傾向のある患者[血小板機能異常が起こることがある。] (7)腎障害又はその既往歴のある患者[腎機能が悪化するおそれがある。] (8)心機能異常のある患者[症状が悪化するおそれがある。] (9)過敏症の既往歴のある患者 (10)気管支喘息のある患者[症状が悪化するおそれがある。] (11)高齢者〔2.重要な基本的注意〕及び〔5.高齢者への投与〕の項参照) (12)小児等〔2.重要な基本的注意〕及び〔7.小児等への投与〕の項参照)
- 2. 重要な基本的注意**
- (1)解熱鎮痛剤による治療は原因療法ではなく対症療法であることに留意すること。 (2)急性疾患に対し本剤を用いる場合には、次の事項を考慮すること。 1)発熱、疼痛の程度を考慮し投

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

- (1)消化性潰瘍のある患者[症状が悪化するおそれがある。]
- (2)重篤な血液の異常のある患者[重篤な転帰をとるおそれがある。]
- (3)重篤な肝障害のある患者[重篤な転帰をとるおそれがある。]
- (4)重篤な腎障害のある患者[重篤な転帰をとるおそれがある。]
- (5)重篤な心機能不全のある患者[循環系のバランスが損なわれ、心不全が増悪するおそれがある。]
- (6)本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- (7)アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者[アスピリン喘息の発症にプロスタグランジン合成阻害作用が関与していると考えられる。]

与すること。 2)原則として同一の薬剤の長期投与を避けること。 3)原因療法があればこれを行うこと。 (3)過度の体温下降、虚脱、四肢冷却等があらわれることがあるので、特に高熱を伴う高齢者及び小児等又は消耗性疾患の患者においては、投与後の患者の状態に十分注意すること。 (4)高齢者及び小児等には副作用の発現に特に注意し、必要最小限の使用にとどめるなど慎重に投与すること。 (5)感染症を不顕性化するおそれがあるため、感染症を合併している患者に対して用いる場合には適切な抗菌剤を併用し、観察を十分に行い慎重に投与すること。〔3.相互作用〕の項参照) (6)他の消炎鎮痛剤との併用は避けることが望ましい。 (7)本剤とアセトアミノフェンを含む他の薬剤(一般用医薬品を含む)との併用により、アセトアミノフェンの過量投与による重篤な肝障害が発現するおそれがあることから、特に総合感冒剤や解熱鎮痛剤等の配合剤を併用する場合は、アセトアミノフェンが含まれていないか確認し、含まれている場合は併用を避けること。また、アセトアミノフェンを含む他の薬剤と併用しないよう患者に指導すること。〔警告(2)〕及び〔8.過量投与〕の項参照) (8)アセトアミノフェンの高用量投与により副作用として腹痛・下痢がみられることがある。本剤においても同様の副作用があらわれおそれがあり、上気道炎等に併発する消化器症状と区別できないおそれがあるため、観察を十分に行い慎重に投与すること。 (9)重篤な肝障害が発現するおそれがあるため注意すること。1日総量1500mgを越す高用量で長期投与する場合には定期的に肝機能検査を行う。患者の状態を十分に観察すること。高用量でなくとも長期投与する場合には定期的に肝機能検査を行うことが望ましい。また、高用量で投与する場合には特に患者の状態を十分に観察するとともに、異常が認められた場合には、減量、休薬等の適切な措置を講ずること。 (10)慢性疾患(変形性関節症等)に対し本剤を用いる場合には、薬物療法以外の療法も考慮すること。

3. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

●リチウム製剤(炭酸リチウム) ●チアジド系利尿剤(ヒドロクロロチアジド等) ●アルコール(飲酒) ●クマリン系抗凝薬(ワルファリンカリウム) ●カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、プロピド、リファンピシン、イソニアジド ●抗生物質、抗菌剤

4. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

重大な副作用

1)ショック(頻度不明)、アナフィラキシー(頻度不明): ショック、アナフィラキシー(呼吸困難、全身潮紅、血管浮腫、蕁麻疹等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。 2)中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)(頻度不明)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)(頻度不明)、急性汎発性発疹性膿疱症(頻度不明): 中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、急性汎発性発疹性膿疱症があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。 3)喘息発作の誘発(頻度不明): 喘息発作を誘発することがある。 4)劇症肝炎(頻度不明)、肝機能障害(頻度不明)、黄疸(頻度不明): 劇症肝炎、AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。 5)顆粒球減少症(頻度不明): 顆粒球減少症があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。 6)間質性肺炎(頻度不明): 間質性肺炎があらわれることがあるので、観察を十分に行い、咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音の異常等が認められた場合には、速やかに胸部X線、胸部CT、血清マーカー等の検査を実施すること。異常が認められた場合には投与を中止し、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。 7)間質性腎炎(頻度不明)、急性腎不全(頻度不明): 間質性腎炎、急性腎不全があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

上記以外の使用上の注意等につきましては「製品添付文書」をご参照ください。

■ カロナール[®]の学術情報に関するお問い合わせ先: 0120-050-763 ■ その他に関するお問い合わせ先: 0120-369-873

〈受付時間〉月～金曜日 9:00～17:30 (祝祭日・当社休日を除く)



製造販売元(資料請求先)

昭和薬品化工株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋2-17-11
http://www.showayakuhinkako.co.jp

2014年11月作成(BC)

平成27年5月1日発行(毎月一回1日発行)
昭和42年4月3日 第三種郵便物認可

岡歯会報

5月号

通巻第八二〇号

定価一〇〇円

編集人 中村 慶男

発行人 酒井 昭則

発行所

岡山市北区石関町一丁目五番(購読料は年会費に含まれる)

